

## 杜の ひろば

### ジェンダー平等考える



ジェンダー問題について意見交換する  
学生たち

せんだい男女共同参画財団(仙台市)の職員3人が、東北大でジェンダー平等をテーマに講義をした。

1年生を中心に35人が受講。グループ討議では身近なジェンダーの話題を出し合った。「日傘に男性向けのデザインが少ない」「同性婚や夫婦別姓が認められない」「なぜ女性は化粧を求められるのか」などの意見が出た。

財団職員の中林加南子さん(39)は、男女の賃金格差や意思決定の場の男女比などをデータで示し「生活のあらゆる場面に男女不平等がある。違和感を声に出し、共有してほしい」と呼びかけた。

講義は全学部対象の選択科目「暮らしのジェンダー学」の一環で5日であった。普段は教員らが講師を務め、社会保障や家族などのテーマを考察している。